

大秀工業 株式会社

高度な溶接・製缶技術で
大手メーカーと取引海外
発注可
納期
相談
コスト
相談
試作可
小ロット

高度な溶接技術を持つ若手社員

業務
内容
重要部品を製作、
上海に子会社も設立

アルミ・ステンレスの溶接や製缶、板金加工を中心に行う。売上高は約2億円。取引先は約50社で、大手メーカーが多い。直で取引をし、新幹線用のオイルクーラーや熱交換器、船舶用精密カメラ台など、難易度が高い重要部品を製作する。近年はアルミの溶接リペアや溶接技術者の派遣業も始め、業務拡大を狙う。平成18年には中国・上海に100%独資の子会社を設立。当初は苦労したもの、溶接・製缶技術を評価され、徐々に中国の日系企業をメインに売り上げを伸ばす。現在、上海子会社の売上高は3億円弱と成長した。



製作したアルミ製圧力タンク

強み
高い技術により難易度が高いアルミ溶接も可能

薄板1.5mmから厚板75mmまで、車両部品や船舶部品、生活産業機器部品、エネルギー産業機器部品など高度な技術が必要なアルミ溶接が強みだ。機械加工がある場合も、近くの専門業者を活用し迅速に対応する。アルミは湿度による母材や溶材の管理が厳しく、溶接の難易度が高いが、溶接歪みの出にくい手順や歪みを取る技術、ノウハウで可能とする。溶接の外観だけではなく、内部のX線検査をしても欠陥がない

い良品を製作できるという。

技術力
社内教育で若手技術者が
成長、大会で受賞も

高度溶接技術者が同社を支える。しかし、当初から熟練者がいたわけではなく、社内ですべて技術を磨いて培ったものだ。平成17年ごろ技術継承が課題だったなか、一品一種ではなくリピータ性の高い製品の受注に比重を置くようにした。まず図面の見方や溶接基礎知識などを若手社員に教育し、社内勉強会や社内試験などを通じ溶接技術を習得させた。宇都宮正一社長は「みんな会社の取り組みを理解して素直に応じ、貪欲に知識を吸収してくれた」と喜ぶ。その結果、全ての社員が溶接資格所有者となり、平成24年全国軽金属溶接技術競技会では、30歳の若手社員が大手企業からの参加者に混じり全国4位の優良賞を受賞した。

今後の
展望
第一種圧力容器の製造許可や
ASME取得を目指す

現在圧力容器では、小型圧力容器と第二種圧力容器の製造許可を持っているが、第一種圧力容器の要望も多く、取得を目指す。さらに、アメリカの工業規格である「ASME」も目標。取得すれば海外の仕事も広がるためだが、「技術力はクリアできているだろうが、専門技術者や管理技術者などの条件面でハードルが高い」と宇都宮社長は課題を語る。上海の子会社では顧客ニーズも高いことから、将来は社員100名、売上高10億の規模を目指す。

COMPANY PROFILE

大秀工業株式会社

大阪
25当社の
歴史

昭和31年の創業以来、コンベアや工業炉など、時代のニーズに合わせて溶接・製缶業を営んできました。平成18年に上海市奉賢区に100%独資の「上海大秀金属制品有限公司」を設立し、日本人スタッフによる徹底した技術指導で中国の日系企業から安定した注文をいただいております。平成24年には有資格者の溶接工を全国に派遣するサービスも始めました。

当社を支える技術者の心と技に触れてみてください。

代表取締役 宇都宮 正一さん



■主な事業内容

アルミ、ステンレスを中心とする溶接および製缶、板金加工

■主な取引先（納入先）

エネルギー熱交換器メーカー、食品機器メーカー、水処理装置メーカー、空気圧縮機メーカー等

住所／〒574-0053
大東市新田旭町
5-17
TEL／072-871-6200
FAX／072-872-2311
創業／昭和31年8月
設立／昭和41年9月
資本金／1,000万円
従業員／17名

<http://www.pansrus.com>